



子育て通信

# カナリヤ

発行 第319号 2022. 5. 1.

時津町子育て支援センター『こばとの家』

長崎県西彼杵郡時津町西時津郷 1000-10

支援センター TEL095-882-7455

保育園 TEL095-882-4559

FAX095-882-4901

ホームページ

<https://www.togitsukobato.jp>

## 『No War Please』

時津こばと保育園

園長 嘉村 望

くにと くにの けんかを せんそうといひます  
せんそうは「ぼくがころされないように ききに ころすんだ」  
という だれかの いいわけで はじまります  
せんそうは ひとごころしの どうぐを うる おみせを もうけさせます  
せんそうは はじまると だれにも とめられません

せんそうは はじめるのは かんたんだけど おわるのは むずかしい  
せんそうは へいたいさんも おとしよりも こどもも くるしめます  
せんそうは てや あしを ちぎり こころも ひきさきます

わたしの こころは わたしのもの  
だれかに あやつられたくない  
わたしの いのちは わたしのもの  
だれかの どうぐに なりたくない

うみが ひろいのは ひとをころす きちを つくるためじゃない  
そらが たかいのは ひとをころす ひこうきが とぶためじゃない

げんこつで ひとを きずつけて えらそうに いばっているよりも  
こころを はたらかせて きずつけられた ひとを はげましたい

がっこうで まなぶのは ひとごころしの どうぐを つくるためじゃない  
がっこうで まなぶのは おかねもうけの ためじゃない  
がっこうで まなぶのは だれかのいいなりに なるためじゃない

じぶんや みんなの いのちを だいじにして  
いつも すきなことを かんがえたり おはなししたり したい  
でも せんそうは それを じゃまするんだ

だから  
せんそうを はじめようとする ひとたちに  
わたしはおおきなこえで「やめて」というんだ



戦争と平和を見つける絵本  
～わたしの「やめて」～

新年度が1ヶ月が過ぎ、子どもたちは新しい生活の中で、興味あることを見つけて安心して過ごせるようになりました。そのような子どもたちの姿を目の前にして、ロシアによる侵攻開始以来、ウクライナの子どものことを考えると胸がしめつけられます。

ウクライナから国外へ避難民が300万人を超え、ウクライナの総人口の約4300万人のうち7%以上が国を追われたと報道されました。

ユニセフなどの団体が資金支援を国際社会へ求め、支援活動が拡充していますが、マリウポリなど紛争による最も被害を受けている地域では、避難することができず子どもたちやその家族は水や食料、医薬品の不足に直面し、深刻な状況の中で過ごしています。

当たり前の日常がいかに尊いものであり、子どもたちが大人に見守られ、愛されて、平和に過ごせることがどれだけ大切なことかと感じます。

5月5日にこどもの日の祝日がありますが、ゴールデンウィークのお休みの間、子どもたちが愛情に包まれて安心して過ごすことができますように、一日も早くロシア侵攻が収束し、平和な毎日を取り戻すことができますよう祈り続けたいと思います。

# ごっこ遊びは社会とつながる第一歩



「ごっこあそび」とは、子どもが日常生活やお話の中の人や物を模倣したり、なりきったりする遊びです。「幼児期に必要な遊びは、すべてごっこ遊びの中にある」と言われるくらいに毎日の生活の中でくり返し行われる遊びです。

## ～ごっこあそびを通して育つ3つの力～

### 創造力

電話をしている大人のしぐさや行動のまねをしたりおままごとで食べ物を食べるふりをしたりいろんな行動のマネをすることから始まり、次第に目の前に実際にはない場面や物事をイメージして別の物に見立てたり、ふりをして遊んだり創造する力が育っていきます。

### 協調性・社会性

ごっこ遊びを通じて、それぞれのイメージを相手にわかる様に表現し、友だちと共通のストーリーやルールを作り始めます。いろいろな役になって遊びながら、自分とは違う他者の視点や感情を味わうこともでき、協調性や共感する力など社会生活をするうえで欠かせない能力を身に付けていきます。

### 言語能力

ごっこ遊びを通じて人とのつながりもできます。その時の場面や役に合わせた言葉話すことで、言葉に対する感覚や語彙を豊かにしていきます。



## 周りの大人はどうしたらいいでしょう・・・

ごっこ遊びは、大人のまねをすることから始まります。まねをするということは学ぶということです。ごっこ遊びを始める最初の段階では、周囲の大人が関わることで、子どもの世界が広がり、学ぶ機会がぐんと増えます。ぜひ、子どもの世界観を壊さないように気をつけながら、一緒に遊んであげてください。また、子どもが実際に様々な経験を重ねることも大切です。

ごっこ遊びのきっかけにもなるように、一緒に絵本を読んだり、外に遊びに行ったりと、たくさんの経験をさせてあげるのも、周囲の大人の大切なお仕事です。

保護者の方もごっこ遊びをするときは、ごっこ遊びを存分に楽しんで下さいね！



## ごっこ遊びにつながる絵本



「ぴょーん」 ポプラ社  
著者：まつおかたつひで

いろいろな動物たちが「ぴょーん」とジャンプをする絵本。子どもたちも大好きな絵本です。小さな子どもたちは登場人物になりきって、ページをめくるたびに一緒にジャンプすることを楽しめます。



「くだもの」 福音館書店  
さく：平山和子

いろいろなくだものが「はいどうぞ！」と読み手に差し出される絵本。見ている子どもたちもつい手を伸ばして口に入れる仕草をしています。



「はじめてのおつかい」 福音館書店  
さく：筒井頼子 え：林 明子

主人公の女の子が近所のお店におつかいに行く物語。お店屋さんとのやり取りをする中で、読んでいる子どもたちもお店屋さんに行った気分になることでしょう。



「からすのパンやさん」 偕成社  
絵と文：かこさとし

からすのまちにあるからすのぱんやさん。たくさんのパンを作りまちのからすたちに販売します。その種類の多さに子どもたちもびっくり！！パンを作る工程もしっかりと描かれています。

### ～アロマ教室（要申込）～

香りでカラダとココロがわかる？！自分の健康は自分で守る。自分の状態を知り、自分に合ったセルフケアをしませんか…。体質がわかったら、それぞれ自分にあったアロマスプレーを作ります。

日時：7月14日（水）10：00（9:50までに受付）

参加費：500円 5組程度

講師：村田郁子先生

場所：学童保育室 \*託児は支援センター2階で行います。

\*申込期間5月2日（月）～5月11日（水）

